

○園の紹介

昭和 47 年に開園した鹿児島市平川動物公園は、鹿児島市の南部に位置し、前面に雄大な桜島と波静かな錦江湾を望む自然豊かな丘陵にあります。公園の中央部には五位野川が流れており、無柵放養式を取り入れ、さらにはコアラの飼育数が日本有数といった特色ある動物公園として、多くの入園者に親しまれています。また、平成 21 年度から 27 年度までの 7 年間でリニューアル整備を行っており、約 130 種類、1000 点の動物たちの生き生きとした様子をより間近でご覧いただけます。



(桜島をキリマンジャロに見立てたアフリカ園)



(国内屈指の飼育頭数を誇るコアラ)

○ペンギン飼育の歴史

平川動物公園の前身である鴨池動物園（大正 5～昭和 47 年）にて、昭和 33 年よりフンボルトペンギンの飼育記録があり、経緯として鹿児島県鹿屋市の海岸で漂着したところを保護された興味深い記録が残っています。平川動物公園では昭和 47 年より継続してアシカ池で鰭脚類とフンボルトペンギンを混合展示し、平成 3 年から平成 7 年まではイワトビペンギンとマカロニペンギンも飼育していました。現在はペンギン舎にてフンボルトペンギンを 25 羽飼育しており、来園者の高い人気を得ています。

○ペンギン展示場と飼育の取り組み

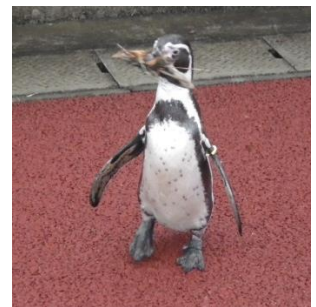
平成 3 年に完成した展示場は陸地面積が約 30 m²、プール水量 40 m³、予備室と予備プールを備えています。昔ながらの施設ですが、プール内が見渡せるガラス面を備えておりペンギンの姿を多方面から観察できる形状となっています。また、平成 17 年より冬～春期にかけてペンギンのお散歩イベントを実施しています。これは運動不足等による脚の病気予防や、展示場とは異なる環境でのエンリッチメント効果を目的として実施しています。散歩はペンギンの自主性を尊重し、巣材用の枝収集や索餌を目的に散歩に出てきていると推測され、ペンギンと来園者双方が楽しめるイベントとして大変人気があります。



(泳ぐ姿を観察できるガラスビュー)



(散歩イベントの様子)



(散歩中に巣材を集める様子)

鹿児島へお越しの際は、是非平川動物公園にもお越しいただき、動物たちののびのびとした姿をご覧いただければと思います。